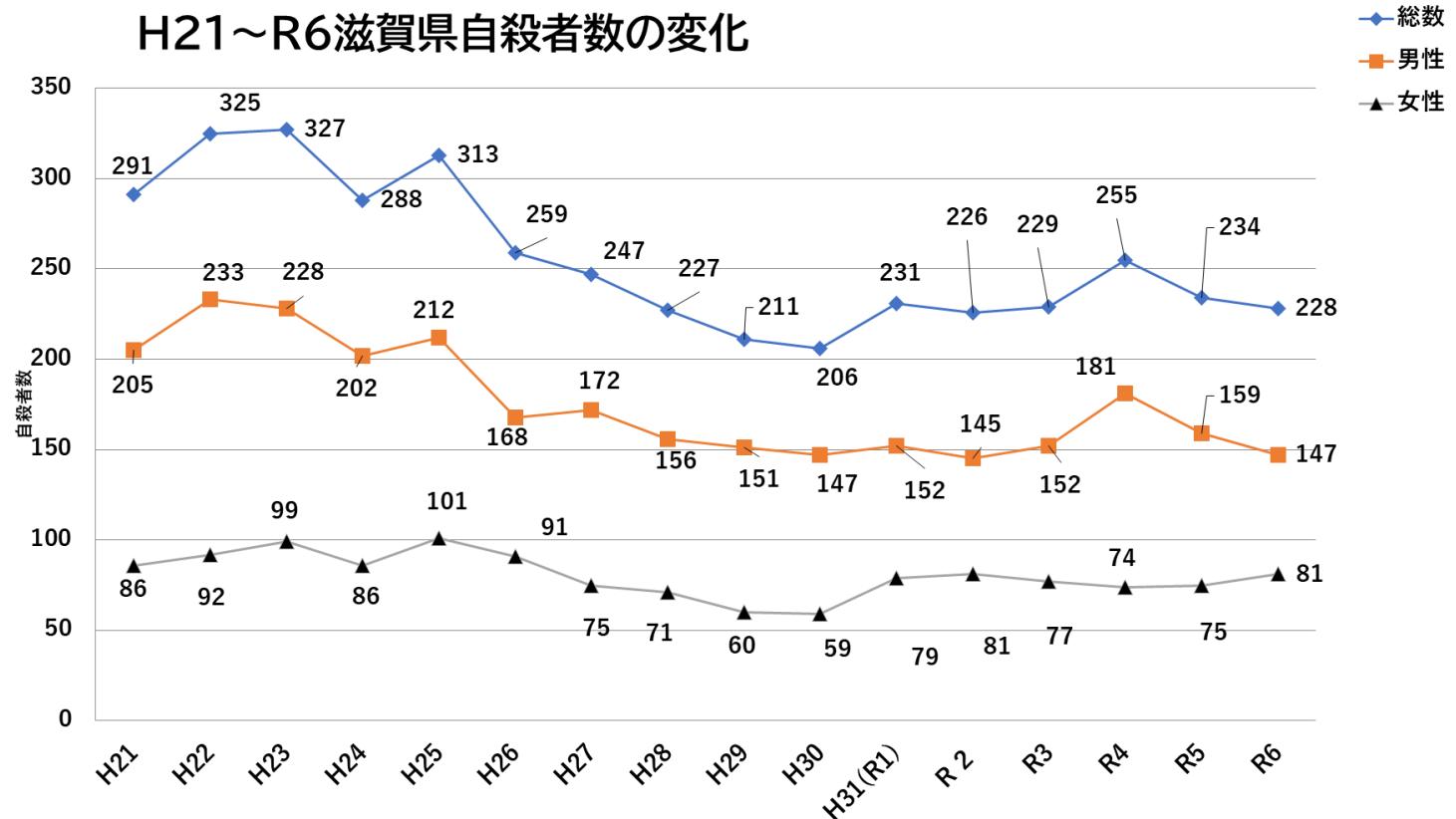


■ 滋賀県の自殺者について

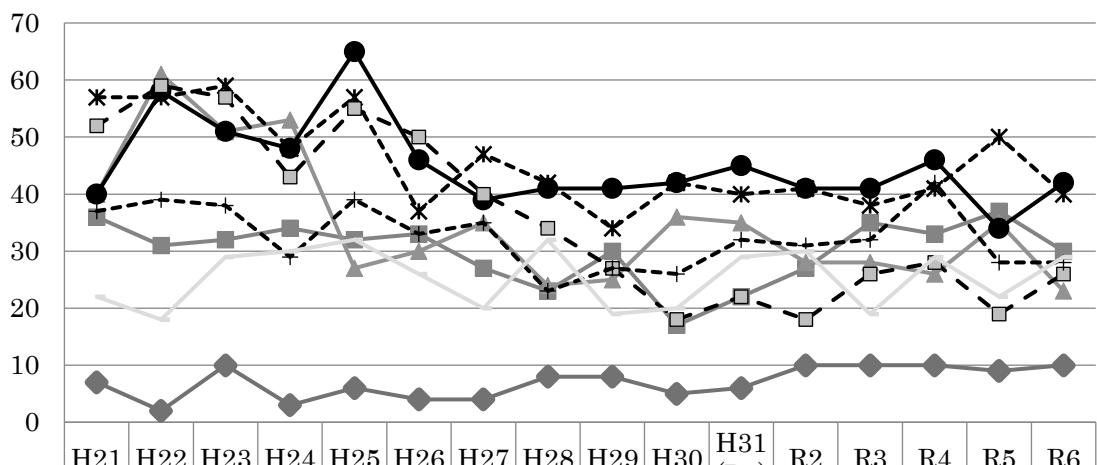
滋賀県の自殺者は平成 25 年からは緩やかな減少傾向を維持し、コロナ禍では増加傾向に転じましたが、令和 4 年以降は再び減少傾向となり、令和 6 年は 228 名となりました。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

年齢階級別自殺者数の年次推移

(人)



~19	7	2	10	3	6	4	4	8	8	5	6	10	10	10	9	10
20~29	36	31	32	34	32	33	27	23	30	17	22	27	35	33	37	30
30~39	40	61	51	53	27	30	35	24	25	36	35	28	28	26	35	23
40~49	40	58	51	48	65	46	39	41	41	42	45	41	41	46	34	42
50~59	57	57	59	48	57	37	47	42	34	42	40	41	38	41	50	40
60~69	52	59	57	43	55	50	40	34	27	18	22	18	26	28	19	26
70~79	37	39	38	29	39	33	35	23	27	26	32	31	32	42	28	28
80~	22	18	29	30	32	26	20	32	19	20	29	30	19	29	22	29

地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 令和6年死因順位別にみた年齢階級別死因割合

10歳～14歳および20歳～39歳までの死因の1位は自殺であり、40～54歳は第2位が自殺です。

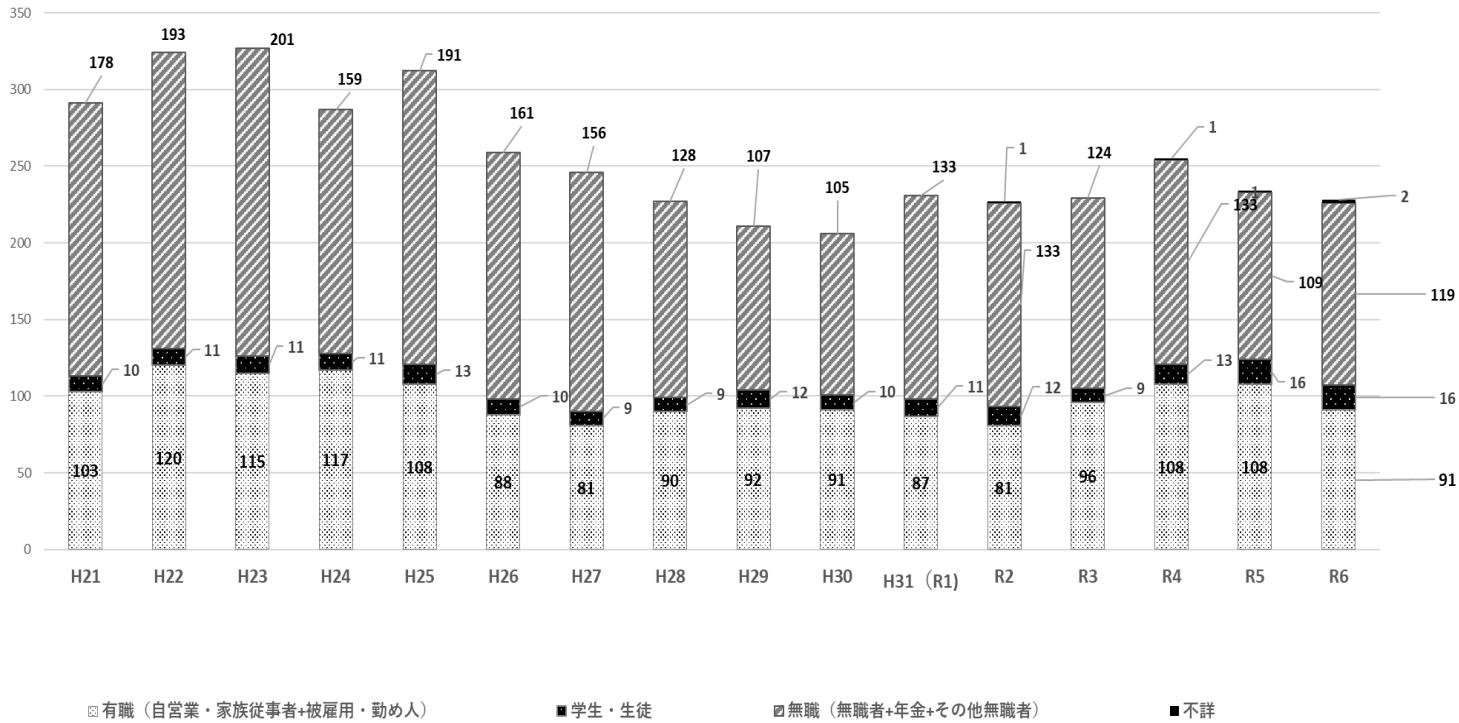
年齢階級	順位	死因	率	順位	死因	率	順位	死因	率
10～14歳	1位	自殺	60.0%	2位	悪性新生物	40.0%			
15～19歳	1位	不慮の事故	33.3%	2位	自殺	28.6%		その他の死因は一人ずつのため不記載	
20～24歳	1位	自殺	71.4%	2位	不慮の事故	7.1%		その他の死因は一人ずつのため不記載	
25～29歳	1位	自殺	54.5%	2位	悪性新生物	9.1%	2位	脳血管疾患	9.1%
30～34歳	1位	自殺	55.2%	2位	悪性新生物	27.6%	3位	不慮の事故	6.9%
35～39歳	1位	自殺	20.6%	1位	悪性新生物	20.6%	1位	不慮の事故	20.6%
40～44歳	1位	悪性新生物	27.9%	2位	自殺	26.2%	3位	脳血管疾患	9.8%
45～49歳	1位	悪性新生物	27.7%	2位	自殺	18.5%	3位	心疾患(高血圧性を除く)	11.5%
50～54歳	1位	悪性新生物	39.7%	2位	自殺	12.1%	3位	心疾患(高血圧性を除く)	10.6%
55～59歳	1位	悪性新生物	41.8%	2位	心疾患(高血圧性を除く)	15.3%	3位	脳血管疾患	7.6%
60～64歳	1位	悪性新生物	45.5%	2位	心疾患(高血圧性を除く)	14.1%	3位	脳血管疾患	6.9%

※死因順位は死亡数の多いものからとなっているが、同数の場合は、自殺を優先して記載しています。

■ 職業別自殺者数

職業別の自殺者をみると、令和 6 年は有職者 91 人に比べ無職者が 119 人、経年の変化をみてても、有職者に比べて無職者の自殺者が多い傾向となっています。また学生・生徒の自殺者数は横ばい傾向となっています。

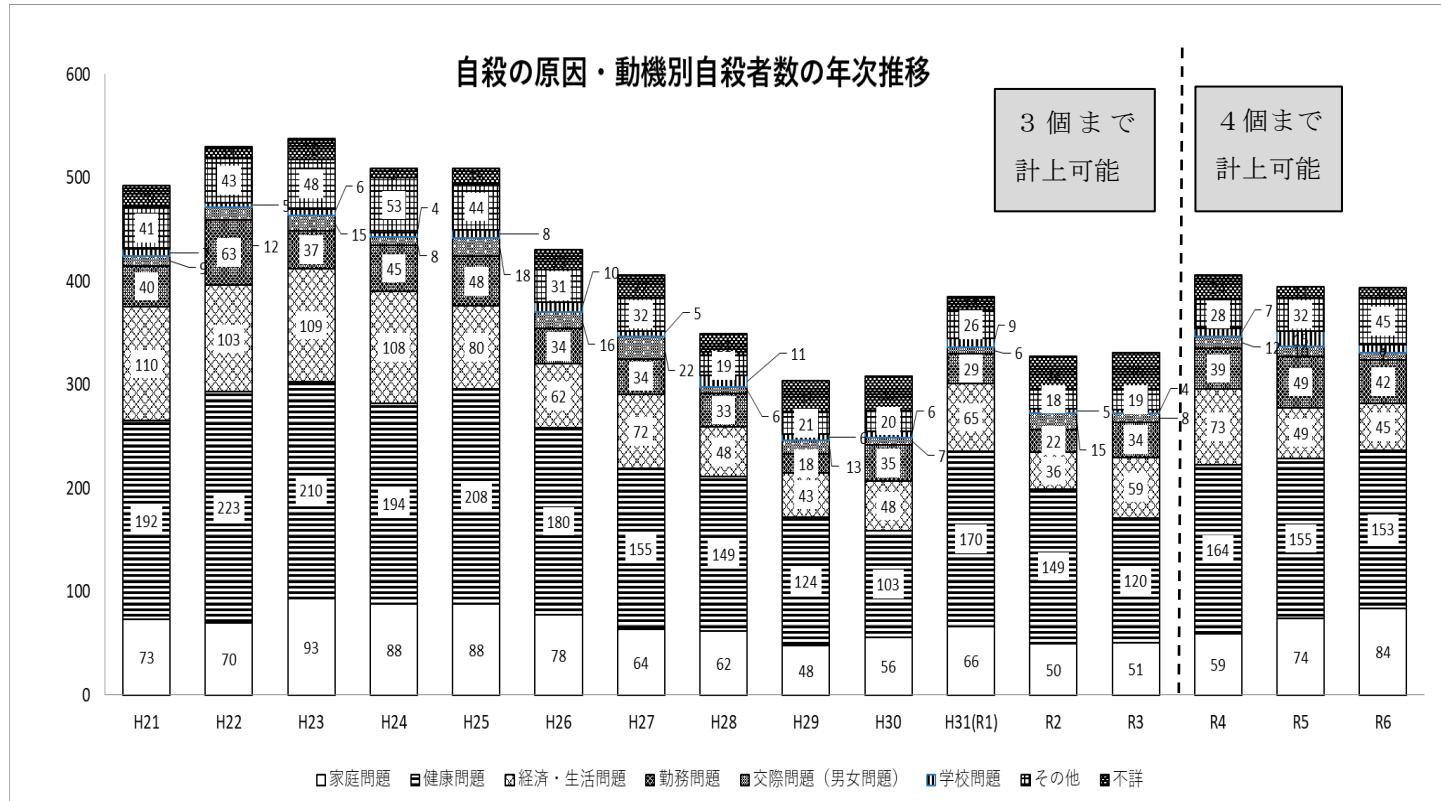
職業別自殺者数の年次推移



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 原因・動機別自殺者数の年次推移

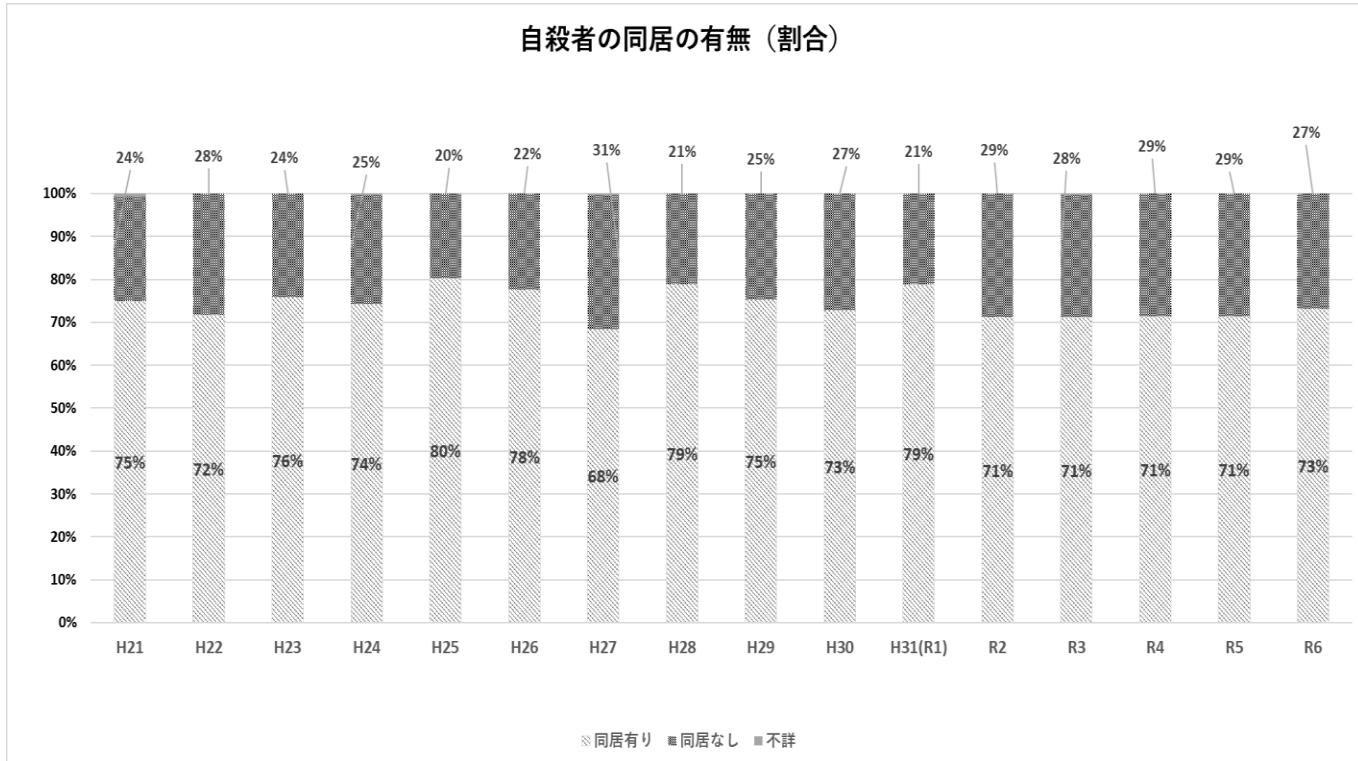
原因・動機別の自殺者数については、令和4年より原因・動機を最大4つまで（令和3年までは3つまで）計上しています。原因・動機別でみると、多い順に健康問題、家庭問題、経済・生活問題、その他となっています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 自殺者の同居の有無

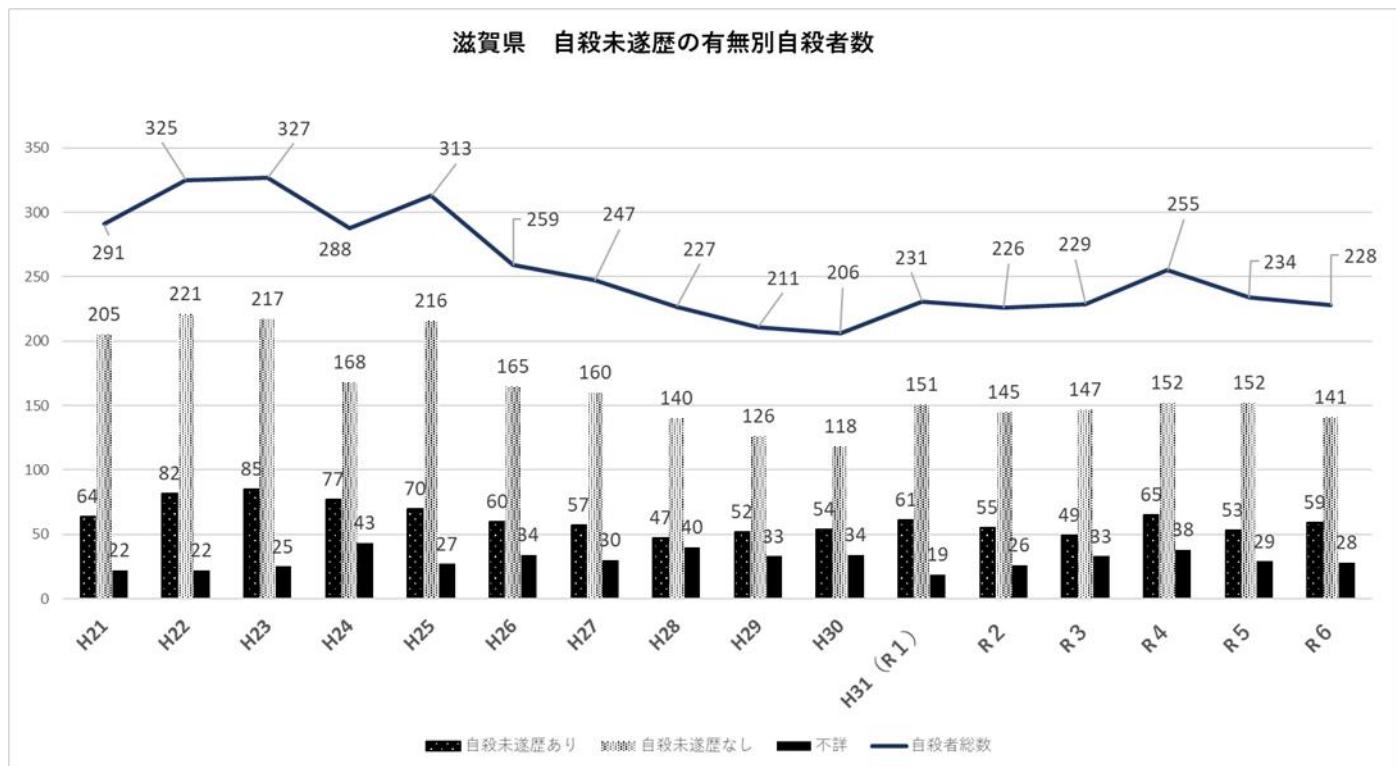
自殺者における同居の有無の割合をみると、同居有りが 70%を占めています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 自殺未遂歴の有無

自殺者数における自殺未遂歴ありの人は、平成23年のピーク時より減少していましたが、近年横ばいで推移しています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成